

音楽科…

資質・能力の螺旋的な

す教科

小学校音楽科
中学校音楽科 共通
高等学校芸術科（音楽）

音楽科の授業において、
「身に付けた資質・能力を活用・発揮
する」とは
具体的にどういうことなのか、
最初に説明します。

高

中

小

音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

小学校及び中学校の「音楽科」，高等学校の「芸術科音楽」において，

「児童や生徒が身に付けた資質・能力を活用・発揮する」

ということが，具体的にどういうことなのかについて，小学校，中学校，高等学校に共通した音楽科という教科・科目の特質を踏まえた上でまずは説明します。

音楽の授業を構想したり実践したりする上で，どうしても理解しておいてほしいことですので，どの校種の先生もぜひご覧ください。

音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

小学校から高等学校まで，教科・科目名が変わらない「音楽」ですが，そこでやる内容も

「歌唱」

「器楽」

「創作（音楽づくり）」

「鑑賞」

の4つの分野で変わりません。

器楽



鑑賞



歌唱



創作



音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

「歌唱」「器楽」「創作（音楽づくり）」「鑑賞」

上記4つの幅広い音楽活動を通して、生活や社会の中の（多様な）音や音楽、音楽文化と幅広く（豊かに・深く）関わる資質・能力を、発達段階に応じて螺旋的に質を高めていくことを目指す教科が「音楽」です。

音楽では「単元」でなく「題材」を用いますが、その理由や意味もここにあります。

音楽科…

資質・能力の螺旋的な質の高まりを目指す教科



音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

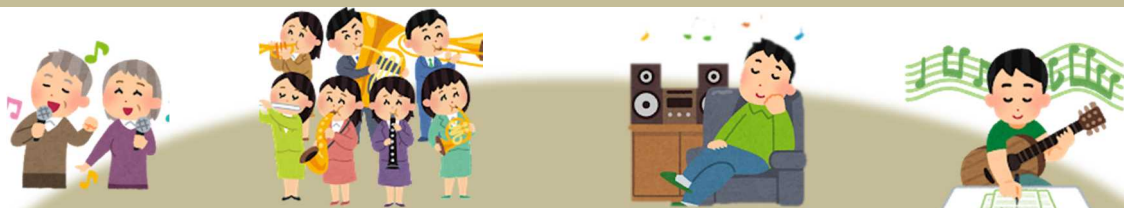
このことによって、最終的に目指すのは、

生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む

ことであり、

音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

ことです。



生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力

…生涯にわたり音楽を愛好する心情

音楽科…

資質・能力の螺旋的な質の高まりを目指す教科



音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

資質・能力の質を螺旋的に高める際、

表現及び鑑賞の全てに共通して必要となる、
言い換えれば

全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力が

〔共通事項〕

です。



音楽科...

資質・能力の螺旋的な 質の高まりを目指す教科

生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力

…生涯にわたり音楽を愛好する心情



高



[共通事項]ア, イ

表現及び鑑賞に共通して必要となる
(全ての学習の支えとなる) 資質・能力

中



器楽

鑑賞

創作

歌唱

小



〔共通事項〕

表現及び鑑賞に共通して必要となる（全ての学習の支えとなる）資質・能力

(1) 「A表現（歌唱、器楽、創作・音楽づくり）」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を
知覚し（聴き取り）、それらの働きが生み出す特質や
雰囲気（よさや面白さ、美しさ）を感受し（感じ取り）
ながら、知覚した（聴き取った）ことと感受した（感じ
取った）こととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語
や記号など（音符や休符）について、音楽における働
きと関わらせて理解すること。

音楽科(芸術科音楽)という教科・科目について

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

表現及び鑑賞の全てに共通して必要となる、(全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力)である〔共通事項〕ですが、

「思考力, 判断力, 表現力等」に関する資質・能力のアと,
「知識」に関する資質・能力のイがあります。

特にアが重要で, 聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせていくことによって, 知識や技能が更新されていきます。

音や音楽との出会いの段階でこの資質・能力を活用・発揮させることが大切です。また, 習得した「実感しながら理解する知識」や「創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能」を生きて働くものとして身に付けることが〔共通事項〕のねらいでもあります。



●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」ですが、上記が主なものです。これらの中から、その題材の中で扱う「本題材の学習において、児童生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」を絞り込むことが重要です。1題材で1～3つ程度に絞り込んで題材構成等を構想していきます。

音楽科…

す教科

●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは…

以上のように「音楽」は「身に付けた資質・能力を活用・発揮する」ことの繰り返しを大前提とした教科・科目です。

〔共通事項〕を支えとした授業をすることで、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育んでください。

中学校・高等学校の音楽科教員はこのことを常に意識し、小・中・高の系統性を踏まえた授業づくりや授業改善をしていく必要があります。

小学校の教員は、その題材で身に付けさせたい資質・能力が何であることを学習指導要領で確認した上で、まずは「楽しい音楽活動」を実践し、それを〔共通事項〕を支えとしながら「音楽の学習」へと誘ってあげてください。

高



中



小